



国際ロータリー第2790地区 千葉南ロータリークラブ会報

THE ROTARY CLUB OF CHIBA SOUTH



■創立■ 1964年3月2日 ■例会日■ 毎・金曜日12時30分 ■例会場■ オークラ千葉ホテル
 ■会長■ 小林 透 ■幹事■ 廻 辰一郎 ■会報委員長■ 石井 慎一
 ■事務局■ 〒260-0027 千葉市中央区新田町12-1 トーシン千葉ビル7階 (☎043-245-3204)

2016-17年度

第2571回

平成29年1月13日(金) 点鐘12:30 <晴れ>

- ◆ロータリーソング『我等の生業』
- ◆四つのテスト ～言行はこれに照らしてから～
 1. 真実か どうか
 2. みんなに公平か
 3. 好意と友情を深めるか
 4. みんなのためになるか どうか

◆お客様紹介

◇本日のゲストスピーカー／千葉市医師会理事・
 千葉市を日本のシアトルに！実行委員会
 実行委員長 中村 真人先生 (なかむら医院 院長)

◆会長報告及び挨拶 伊藤 和夫直前会長

本日は、小林会長が出張のためお休みされています。
 寒い時期になってきているので、体温を上げて風邪を引かないようにしてください。梅干しと生姜を混ぜてこれを番茶で飲むと体温が上がります。また、ツボを押して体を温めるという方法もあります。

今月は、職業奉仕月間です。それぞれが職業で頑張っ
 て儲けていただいて、財団に寄付をしましょう。また、会員
 が51名で伸び悩んでおりますので、候補者を募って、頑張
 りましょう。6月までに最低2名の純増を目指しましょう。

◆幹事報告 廻 辰一郎幹事

2月16日(木)にインターシティ・ミーティング開催されま
 す。(点鐘14:00 会場:三井ガーデンホテル千葉)
 準備の都合上、早めにご都合をお知らせ下さい。

◆ニコニコボックス報告

《小林 透会長・廻 辰一郎幹事》

正月気分もようやく薄れ、いつもの平常な日々が戻って
 まいりました。そんな中、本格的な寒さが到来、空気も乾燥
 してきております。風邪などひかれませんようお気を付けく
 ださい。

さて、本日は、「千葉市を日本のシアトルに！」実行委員

長の中村先生をお迎えしております。どのようなお話を伺え
 るのか大変楽しみにしております。宜しく願い致します。

《向後 保雄会員》

私の議長職も本年5月末で終わり、6月の第2回定例会
 の初日に交代する予定です。そこで、2月18日(土)の夕方
 5時30分より、私の市政報告会を開催致しますので、多く
 の市民の皆様にお越しいただきたくご案内いたします。

本日のニコニコボックス	3,000 円	累計	242,000 円
金の箱	361 円	累計	10,989 円

◆出席報告 (会員数51名)

出席者数	欠席者数	ビジター	修正出席率
30名	21名	1名	次週にて

千葉市内例会変更のご案内 [メーキャップにご利用下さい。](#)

千葉RC	月	2/13	三井ガーデンホテル千葉
千葉西RC	火	—	センシティブター「東天紅」
千葉幕張RC	火	2/14	アパホテル&リゾート東京ベイ
新千葉RC	水	2/15	京成ホテルミラマーレ
千葉北RC	水	1/25	ホテルポートプラザちば
千葉中央RC	木	1/26・2/23	三井ガーデンホテル千葉
千葉港RC	木	1/26・2/16	京成ホテルミラマーレ

◆◆◆◆◆ 本日の卓話 ◆◆◆◆◆

演 題⇒「AED先進都市シアトルを目指そう」

卓話者⇒ 千葉市医師会理事・

千葉市を日本のシアトルに！実行委員会
 実行委員長 中村 真人先生



千葉市医師会が千葉市と協力して活
 動している事業「千葉市を日本のシア
 ルに」、これは、2010年からスタートしま
 した。心停止をするなら、どうぞ千葉市
 でおこなってください、というものです。

大都市の救急救命率は10%以下に
 対して、シアトルでは40%程度です。心
 停止の場所で人の生死が決まってい
 るのだろうか、ということからこの活
 動を開始することになりました。

年間6万人が突然死しています。心停止の起こる原因としては、食生活の欧米化があります。1970年を境に日本人の脂質の割合が増えていることが一因です。動脈硬化は、それこそ10代から始まっています。

心筋梗塞がなぜなかなか防げないかという、サイレント病だからです。知らないうちにはじめた1円玉貯金のようなもので、症状は満期になるまで現れません。それぞれの人が10年満期であったり、5年、20年満期だったりするので。どこに貯金しているのかという、血管の壁のなかです。病院に運ばれば、95%ほどが助かることができる病気です。しかし、病院にたどり着かない人がたくさんいます。心臓が機能せずに、酸素が脳に行かないと、脳は3、5分でダメになってしまいます。すぐに処置が必要です。時間経過と救命率をみると、だいたい1分遅れるごとに7～10%救命率は低下します。だいたい9分経つとほとんど助かりません。救急車到着までの平均時間は千葉市でだいたい8分と言われています。しかし、実際に倒れたという通報から現場と状況の確認とかでスタートするのに3分くらいかかります。救急車運転時間が8分30秒、現地到着して患者接触、除細動に至るまでにはもう少し時間がかかる。心筋梗塞、救命と考えた時にバイスタンダー＝そばにいる人がどうい対応をするかということにかかっているのです。

どうすればシアトルになれるかという、市民の3割以上がバイスタンダー、救急蘇生をできることが必要です。千葉市消防局が非常に頑張っていて、去年2万人くらいが講習を受講しています。消防局の方は1回20人、年に500回以上講習をしています。しかし、千葉市の人口は約96万人ですから、30万人が3回以上の講習を受けるとすると、30年以上かかってしまいます。

そこで、まず、医師会のなかに CEMTEC 委員会 (Chiba Emergency Medical Training and Education Committee) を設立しました。委員会では、「いのちを守る教育推進プラン」の遂行をしています(後述)。また、医師会会員にはICLS/BLS、救急蘇生の1日コースを受けてもらい、医師会の会員としてリーダーになれるようにしています。あと、研修会の開催、いろんな科におけるレベルアップを図っています。ほかにも、市の医師会認定救急制度あるいは医師会だけでなく、歯科医師会、薬剤師会と三師会救急蘇生の研修を開催したり、あとはレサシアンという人形の貸し出しをしたり、救急たまごホルダーというのを紹介したり、シアトル構想のパナーを作成して、啓発を図るというような活動をしています。

「千葉市を日本のシアトルに」実行委員会、CEMTEC 委員会は千葉大学、消防局、教育委員会、いろんなところが参加して、横の連携を図るかたちでやっています。啓発事業をはじめ、これまで10回開催して、のべ100人以上の医師会会員が受講しています。それぞれ医師会の会員が学校医・産業医・かかりつけ医として活動するようにということをやっています。救急対応の向上研修会はこういったかたちで一般救命だけでなく、眼科、耳鼻科、産婦人科いろんな科で救急対応できるように勉強しようじゃないかということで受講を促しています。認定救急制度初級中級上級というかたちで設けて、それぞれのインセンティブをつけています。

救急蘇生の研修をどの程度受講すれば実際に救急蘇

生ができるようになるかと、一度アンケートをとったことがあります。すると、3回以上はやはり受講しないとできるという方が少ないのです。

ということで、「いのちを守る教育推進プラン」、というものを一部の学校区で進めています。小学校5年、中学校2年、高校2年で救急蘇生を習うことで、3回受講できる。そうすれば、高校卒業した時には、ある程度救急蘇生の現場に対応しても参加できるのではないかと、ということでやっています。こういったかたちでやっているのはたぶん全国でもまだないと思います。他の地区では中学校だけとか、小学校だけとか、でやっています。今年はだいたい千葉市内の3分の1の学校でやっております。平成32年には千葉市の全部の小中学校で、こういったことが授業で行われるかたちになります。医師会からは、マネキン、DVD、救急たまごホルダーを提供しています。

「かけがえのないいのちを救おう」ということで、心肺蘇生法の技術を習得し、かけがえのないいのちを助けられるようになろうということで講習をします。AED はどこにあるんだろうかと、実際に学校の中で取りに行ってもらったりとかします。しかし、AED を捜してもらい、クラスのなかでいちばん速い子に取りに行っても、戻ってくるまで5分かかります。5分何もしなければ脳の助かる率は半分以下になってしまいます。そうすると、バイスタンダーをどうやってできるようにしておくのかというのが非常に大事になります。

「いのちを守る教育推進プラン」に必要な器材ですけれども、マネキンが非常に大切です。80人の授業で40体は必要になります。千葉市は6区ありますから、全部で240体あればいいのですが、マネキンは結構高いんです。いろんなマネキンがあり、1体50万のものもあります。医師会の予算では買えないので、もう少し安いマネキンを40体買わせて、教育委員会にお貸ししました。これが始まりで、毎年購入し、教育委員会に貸し出ししています。

小中学校の成果ですけれども、AED の設置場所がわかる児童が50から100%へ向上、授業後は自分たちもできるという児童が増えました。また、家庭へ持ち帰り、家族で命について考える機会となったということもありました。人が倒れていたら助けると答えた児童が25%から95%に増えました。ほとんどの生徒がこの授業は将来、役に立つと感じ、救命に関する関心や意欲が向上しました。さらに、自他の生命を尊重する気持ちも芽生えたようです。ただ、今後の課題として、まだ指導者が不足しております。

千葉市のシアトル化計画を目標とすることは、まず、千葉市のブランディングです。とにかく千葉市のブランディングが一番で、次は経済活性につなげればと考えております。

千葉市を日本のシアトルにするためには、AED トレーナー、マネキンなどの資器材がまだまだ足りません。

ぜひ、皆様のご協力とサポートをよろしくお願いします。

第2572回例会

日時⇒ 平成29年1月20日(金)

卓話⇒ 『職業奉仕月間に因んで』

地区奉仕プロジェクト総括委員会

職業奉仕委員会 委員 渡邊 岳仁様

<会報当番：酒井 秀大>